血液疾患と歩む患者・家族の会
まろまろ
会報　第25号　2014/5/12

● 第16回市民公開講座 骨髄移植を知ろう

第16回となる市民公開講座「骨髄移植を知ろう　～みんなで支えるがん診療～　」が開催されます。

第1部では、「病気になったときのお金の話」と題して、高額療養費制度など医療費を支える制度について勉強します。

第2部では、青森県立中央病院の立花部長から輸血に関するお話を、また、青森県赤十字血液センターの柴崎所長からは献血の現状などについてお話しいただきます。

そして第3部では、骨髄バンクのドナー登録説明員、ドナー経験者、移植体験者のそれぞれの立場から、骨髄移植への思いを語っていただきます。

昨年の第14回市民公開講座では、「骨髄バンク100人のドナーたちの思い」と題し、骨髄提供をしてくださった県内在住の方々にお集まりいただき、本県初のドナー同窓会を開催しました。そこに参加してくださった方の中には、その後、ドナー登録説明員としての活動を始められた方や、まろまろのサポートをしてくださっている方もおられ、市民公開講座も次のステージに進みつつあると感じています。

第16回の市民公開講座も、「来場された方に何かを掴んでいただける会」を目標に、スタッフも準備を進めています。皆さまお誘い合わせのうえ、ご参加ください。

日時　平成26年7月12日（土）13:00～16:20
場所　アウガ5階AV多機能ホール（青森市新町1－3－7）

まろまろ　平成２６年度総会

アウガで7月12日開催の市民公開講座に引き続き、16時半から総会を開催します。総会資料は後日お送りします。

また、恒例の懇親会についても、併せてご案内しますので、こちらもご参加ください。

いのちのリレー ～骨髄バンクドナーたちの思い～

骨髄バンクドナー・ドキュメンタリー「いのちのリレー」が3月18日にＴＢＳニュースバードで全国放映されました。

「いのちのリレー」は、青森県での骨髄バンクドナーの骨髄提供が100例に到達したことを記念に昨年開催された「第14回市民公開講座」のドキュメンタリーで、9月と今年1月にＡＴＶで放映されたものです。

ＤＶＤの貸出しを希望される方は090-9634-6703山本までご連絡ください。

● 異動のお知らせ

青森県病院局の人事異動があり、まろまろ会員の病院スタッフも異動されました。

<退職>　寺澤　儀男　臨床検査指導監
植村　康子　看護部次長
成田美保子　看護指導監
－たいへんお世話になりました。－

<転入> あすなろ医療療養センターから
米谷　文子　5階東病棟
佐々木美子　集中治療看護班
飛内那穂子　4階西病棟

◆ 新年交流会2014 ◆

まろまろ新年交流会が、1月25日（土）午後6時から、ホテルクラウンパレス青森で約40名の会員を集めて行われました。

県立中央病院久保部長の挨拶に続き、臨床検査部の寺澤指導監が乾杯の音頭を取って宴会がスタート。

今回はあおもりフラ協会の8名によるショーが企画され、そのステージに注目が集まりました。ショーに先立ち、あおもりフラ協会の事務局長を務める木村邦子さんから、2008年に夫・邦之さんを急性リンパ性白血病で失ったこと、そしてご自身も難病「ギラン・バレー症候群」に罹り、現在も後遺症と闘いつつ活動を続けていることが語られました。

フラショーは二部構成で行われ、冬まっただ中の外と違って、会場内は南国ムードに包まれました。

ビンゴ大抽選会では、豪華賞品が1つずつ消えるたびに歓声とため息が起こっていました。
（文：小友克彦）

「第5回あおもりチャリティーフラショー」の御案内

「あおもりフラ協会」は、多くの人たちと幸せを共有し、地域の活性化に役立ちたいという青森県内のフラ（ハワイアンダンス）を愛好する皆さんです。

チャリティフラショーは今回で5回目を迎え、日本骨髄バンクなどの外、「まろまろ」も後援をしています。

また、あおもりフラ協会では骨髄バンク関係団体等への支援を行っており、昨年は「まろまろ」もご支援をいただいております。今回も、収益金の一部を骨髄バンク関係団体に寄付することを予定しているそうです。

日　時：　平成26年6月29日（日）　開演　午後1時半
会　場：　弘前市民会館大ホール
入場料：　900円（取扱店：サンロード青森サービスカウンター、弘前市まちなか情報センター、弘前ヨークカルチャー、アラモアナ（新鍛冶町ダイヤモンドビル2F））
問合せ：　電話　090－4476－1203　あおもりフラ協会事務局　木村さん

♪♪ ♪♪♪ リレーエッセイ ♪♪♪♪♪　第9走者　成田昭一さん（会員）

血液型のキャラクター「こうはく坊」を作成してくれた（第8走者の）須藤美由紀さん、ありがとうございます。

骨髄バンクドナー登録説明をしていて、登録してくれた方に何か記念になる物を・・・と思い、須藤さんに相談し、ストラップにして作成してもらいました。

とても可愛いく好評です。（前号のリレーエッセイでは、須藤さんから「紅白」の由来の説明付きで「こうはく坊」の紹介をいただき、ありがとうございました。）

私は1999年12月に急性白血病で入院し　当時、名古屋の病院で行なわれていた治療効果の高い療法を受け、翌2000年5月に退院し、14年経過しました。

入院中は　抗がん剤治療の副作用で食欲がなくなり、「食べなければ・・・」といつも食べることばかり思って過ごしました。また、散髪した次の日に脱毛してしまいビックリしたことも、今は思い出となりました。お陰様で、現在はメタボの体型ですが、体調良好です。

先日、入院中同室だった、今貞尚さんのところへ会いに行き、入院中や退院後のことで話が尽きませんでした。野辺地町で喫茶店を経営し、元気で仕事をしています。

今さんは、久保先生により、骨髄移植を一番目に受けました。（ドナーは、今さんのお兄さん。）当時、放射線治療の際に使用する台は今さんの体型に合わせて作り、その後8年ぐらい使用していたそうです。（久保先生の話）

病気をし、いろんな方々とご縁が出来たことは、心の財産です。

先生、看護師さんを信頼し、沢山の方々に支えられ、感謝の気持ちで現在に至っています。

次のバトンは、まろまろの談話会で患者さんへの声がけやミニ学習会での講習等、大変お世話になり、4月から7階東病棟勤務の　**盛小枝子さん** にお願いいたします。

～ 野辺地町で「地域談話会」を開催します ～

日時：平成26年6月14日（土）14：00～16：00
会場：野辺地町観音林後2－7
お食事とコーヒー 「パルコ」
電話　0175（64）0622

リレーエッセイに登場の今さんが経営する喫茶店が会場です。おいしいコーヒーをすすりながら、近況や情報を交換し合いましょう。

定例の談話会で「県病まではなかなか行かれない」という方も、この際に是非ご参加ください。

● まろまろからのいろいろなお知らせ

まろまろ学習会開催のお知らせ

テーマ：**「脱毛時のヘアケアと治療中のスキンケア」**
講　師：がん化学療法認定看護師　坂本周子氏（8階西病棟・サポーター会員）
日　時：平成26年6月28日（土）14：00～15：00
場　所：青森県立中央病院　3階大会議室

抗がん剤治療では、使用する薬によって脱毛、皮膚障害、肌の色や爪の変化など、外見の変化を伴う副作用症状が起 こる場合があります。

このようなお悩みの手助けになれるよう、脱毛時のシャンプー方法やウィッグの準備方法、タオル帽子の作り方をご紹介します。
また、治療中・治療後のスキンケアと爪のケア、元気に見えるメイクのコツなどもご紹介する予定です。
実際に医療用ウィッグも多数ご用意していますので、実際に試着することもできます。

入院中の方、会員以外の方もお気軽にご参加ください。　（申込不要）

骨髄バンク情報（H26年3月末現在）

	全　国	青森県
患者登録者数	1,474人	12人
ドナー登録者数	444,143人	5,505人
対象人口千人あたり	7.39人	8.60人（15位）

ー資料：（財）骨髄移植推進財団 ー

お茶会に参加しませんか

毎月第４土曜日に談話会を開いています。
会員でない方も大歓迎です。

◇開催日　毎月第4土曜日　午後2時～4時
◇場　所　県立中央病院　8階病棟食堂

青森県骨髄バンク登録協力会からのお知らせ

３月中の青森データセンター登録数は１４８人で、全国第５位、東北では宮城の７０人を大きく上回り第１位となっています。この背景には、ドナー登録の説明員として活躍するボランティアの方が増えてきたこともあります。
皆さんも骨髄ドナー登録の説明員になりませんか？　６月７日（土）に青森市長島の日赤献血ルームで青森県骨髄バンク登録協力会の総会が開催されます。興味のある方は是非ご参加ください。

（お問い合せ）090－5832－3531　佐藤

血液疾患と歩む患者・家族の会　まろまろ
＜事務局連絡先＞　青森県立中央病院　血液内科　外来
TEL　017-726-8141　FAX　017-726-8083
〒030-8553　青森県青森市東造道2-1-1

県病HP　http://www.aomori-kenbyo.jp/ketsueki
ブログ　http://maromaroaomori.cocolog-nifty.com
Twitter　http://twitter.com/maromaro_aomori